

## 【総領事館からのお知らせ:安全対策情報:11月】

平成27年11月12日(総15第23号)

在デンパサール日本国総領事館

### 1 治安情勢

インドネシア国内においては、警察によるテロリストの摘発が引き続き行われているほか、インドネシア人のI S I L支援者に対しても当局による監視や取締りが強化されています。

去る9月、I S I Lが機関誌の中で日本を言及し、I S I L域外での攻撃対象例として、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マレーシア、インドネシアに所在する日本の外交使節を挙げました。また10月には、バングラデシュで日本人男性が殺害され、I S I Lバングラデシュを名乗る組織が犯行声明を発出し、イスラム諸国における外国人に対するさらなる攻撃の可能性を示唆しています。

バリ州内においては、現在、具体的なテロの情報はありませんが、引き続きテロ関係情報には御注意頂くとともに、外出時には周囲の状況に注意を払うなど状況に応じた適切な安全対策を講じるよう努めてください。

### 2 一般情勢

#### (1) 空港閉鎖

ロンボク島バルジャリ山(リンジャニ山の一部)の噴火による火山灰の影響で、デンパサール国際空港は11月3日から一時閉鎖、閉鎖解除が繰り返されましたが、12日午前現在は平常に戻っています。

また、ロンボク国際空港については、11月5日から閉鎖が継続されていましたが、12日午前8時に閉鎖が解除されました。

この長期にわたる空港閉鎖の影響で、多数の航空機利用者(邦人観光客等を含む)の出発・到着に混乱が生じました。

空港閉鎖の有無については、噴火の状態や風向きによって、状況は今後も流動的と思われるので、空港を利用される方は、空港・航空会社等からの最新情報の確認をお願いします。

#### 【照会先】

デンパサール国際空港： 0361-9357246

<http://bali-airport.com/?lang=en>

ロンボク国際空港： 0370-6157000

<http://www.lombok-airport.com>

ガルーダ航空：(デンパサール) 0361-9368258 (ロンボク) 0370-638259

<https://www.garuda-indonesia.com/jp/ja/index.page>

#### (2) 狂犬病

今年のバリ州内の狂犬病による死亡者数は、10月末までですでに15人に上っており、狂犬病に感

染している犬に咬まれる事案は、バリ島内で引き続き発生しています。野犬には決して近づかないようにするとともに、飼い犬であっても咬まれないような注意が必要です。また、屋外を徒歩で移動する際は、周囲に警戒する、安易に動物に手を出さないなど、十分な警戒を行ってください。

### (3) 地方首長選挙

12月9日、全国で地方首長選挙が一斉に実施されます。バリ州においても、デンパサール市長、バドゥン県知事等の選挙が実施されます。同選挙に関わる支持者間の選挙キャンペーンが過熱することもありますので、同選挙の動向についても、念のためご留意ください。

## 3 邦人事件・事故関係

### ○ キャッシュカードのスキミング被害

最近、ウブド地区でキャッシュカードのスキミング被害と思われる事案が数件報告されています。通常時はATMを利用して現金引き出しをしていたところ、ある日、身に覚えのない現金引き出しが第三国から行われていた等の被害です。キャッシュカードのスキミング被害はウブド地区以外でもバリ島内で広く報告されておりますので、ATMは信用のおける場所を利用する、利用時にはスキミング装置や違法なカメラなどの不審なものを取り付けられていないかを確認する等、十分御注意ください。

## 4 その他

### ○ 入国査証及び滞在許可

10月下旬から、外国人観光客等の当地入国に際して、入国審査が厳しくなる（制限される）等の情報が、当地在留邦人の間等で広く流れました。

当館から入管当局に確認したところ、最近、入国審査手続きを含む当該入管制度に変更があったという事実はないとの回答でした。うわさやネット上の情報については、その内容の真偽をよくご確認ください。

なお、当地入国に際しては、滞在目的に適した査証（査証免除、到着ビザ、その他ビザ）の取得が必要になります。また、当地に中長期にわたり滞在する場合には、滞在目的に応じた適切な滞在許可を取得する必要がありますので、ご注意ください。

以上